

ふれあいの発進



主任あいさつ



二階介護主任 安田 佐代
山下さんと 『ハイ チーズ!!』

機会に恵まれた。入社当時は、老人保健施設の役割など地域の方々への知名度の低さに驚き、また在宅復帰の難しさに戸惑い、寂しさを感じた。
在宅復帰は本人、家族の強い意志がなければ難しい。私は、施設で働く身ではあるが、お年寄りには在宅で一生を終えてほしいと願っている。なんぐん館が『終の棲家』となつて良いのかといつも自問自答しているが、『終の棲家』となるのなら今のままでは決して良くない。利用者・家族と今以上に関わりを持ち、自分の身内同様の世話をするべきと思うからである。
在宅生活を重視する「介護保険制度」が導入され二年。施設生活も見直す時期が来たと思う。なんぐん館の更なる発展を願い、今自分ができること、これからはすべきことを常に考え、利用者・家族の希望に応えるべく努力していく所存である。
今後共ご指導よろしくお願い致します。



なんぐん館に入社して、五年が経とうとしている。私は、学生の頃から希望する職業などがなく専門学校を卒業すると両親が勧めるままに他企業へ就職した。その頃より、お年寄りに関わる事が多かったからか、介護の仕事をしたと思うようになり、松山の老人保健施設で二年間働くことができた。
御荘町に老人保健施設が開設する事を知り、故郷の施設で介護の仕事をしたと強く希望。縁あってこのなんぐん館に、入社する

なんぐん館開設五周年
記念コンサート



去る、六月九日(日)午後二時より約二時間半に亘り、御荘町文化センターにおいて開設五周年記念コンサートを開催しました。二部構成として一部では南宇和高校の吹奏楽、御荘中学の合唱、藤間咲豊社中藤なみ会の方々による踊り、南楽荘や自在園、なんぐん館に入所されているお年寄り及び職員による歌と踊りが披露されました。なんぐん館の歌「慈眼視衆生」は週一回音楽クラブでボランティアにおいていたでいる岩井憲さんご夫妻のオリジナル作品です。コンサートを通じて地域の皆様には、城辺町出身で東京芸術大大学院オペラ科を修了し、イタリアのミラノに留学、国際コンクール優勝や数々のオペラに出演、ご活躍をされておりますオペラ歌手・二神二朗さんのテノール独唱、奥様万弓さんのソプラノ独唱、そしてご夫妻の二重唱と十曲に及ぶ日本の歌とイタリア歌曲を会場いっぱい響きわたるすばらしい迫力ある歌声を披露して下さいました。コンサート終了後には、観客の皆様より「地元で本格的なクラシックが聴けるなんて滅多にないので今日は記念日です」「すばらしい歌を聴いたので寿命が延びた」ととても良かった」等々、たくさん喜びの声をいただきました。
二神さんご本人も地元でコンサートが実現し、充実感あふれる笑顔が印象的でした。
担当者として不安を抱えながら半年前から取り組んできましたが、出演者の方々や施設関係者、行政、地域住民の皆様によりますご指導、ご支援、ご協力を頂き、お陰をもちまして大成功をおさめる事ができました。心より感謝いたします。
前日のリハーサル立ち会い時には、舞台演出家を気取ったり、舞台監督の気分を味わったりと貴重な体験もできました。次回、十周年記念も心に残るコンサートを目指します。ご期待下さい。

(記 尾崎 美津子)